

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2016.8.15 No. 267 連絡先 042-555-1911



## F-16戦闘機の離陸 5階建て建物が揺れ 窓ガラスが割れると思った



7月30日から8月3日にかけて飛来していた米軍三沢基地所属の14機のF-16戦闘機は、8月5日、朝6時35分過ぎに5機、昼12時6分過ぎに5機、15時55分過ぎに4機が離陸しました。

瑞穂都営住宅に住む女性は、建物がガタガタと揺れ、窓ガラスが割れると思った、恐怖を感じた、戦争が起きたのかと思ったと、語りました。防衛省からの事前のお知らせでは、米軍は「騒音をできる限り軽減するよう運用する」としていましたが、離陸の最後から2番目の1機は、機体を半回転、さらに半回転させる曲技飛行を行い、大地を揺るがすようなすさまじい爆音と振動を故意に発生させました。ここは人口密集地、住民を何とと思っているのか！

飛来したF-16戦闘機は、米太平洋空軍とマレーシア空軍の合同演習を終え、横田に飛来し、横田を離陸、アラスカの演習に参加しているようです。戦争の訓練の中継基地は御免です。

## オスプレイは防災に役立たない 和歌山で芝生を焼き消火作業を受けた



都知事選で小池百合子氏は、「防災の観点からオスプレイは受け入れるべき」と主張しました。実際は防災に役立たず、危険です。

2014年10月19日、和歌山県の防災訓練に参加したMV22オスプレイは、芝生を焼きました。左上は、オスプレイ離陸後の、消火作業の写真。左下は、オスプレイが焼いた芝生の写真です。



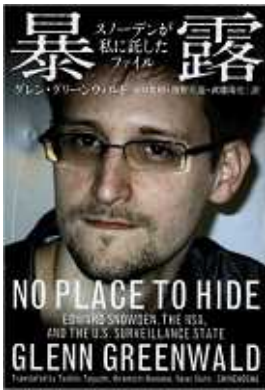
2015年4月25日ネパール大地震があり、普天間基地からオスプレイ4機が救援に行きましたが、活動の最中に住宅の屋根を吹き飛ばしてしまい地元紙に「役立たず」と報じられました。

今年の熊本地震では日本政府が米軍に要請、オスプレイ2機が救援に行きましたが、着陸地には、事前に散水していたのです。

米空軍が2015年6月に公表した最終環境影響評価書の中では、オスプレイは山火事を起こす危険性が高いと指摘されています。

## 横田基地の撤去を求める宣伝・座り込み行動と、撤去の会の総会のお知らせ

- ◎ 2016.8.21(日)13:30~15:30 横田基地撤去の座り込み 福生フレンドシップパーク
- ◎ 2016.8.27(土)13:30~16:00 横田基地の撤去を求める西多摩の会総会  
羽村コミュニティセンター3階ホール(羽村市役所の隣)
- ◎ 2016.9.17(土)10:00~16:00 横田基地撤去の宣伝 福生公園(福生市民会館前)
- ◎ 2016.9.18(日)10:00~15:30 横田基地撤去の宣伝と座り込み(13:30~15:30) 同上  
(17日と18日は、横田基地日米友好祭が開催されます)



米国の監視システムを告発して世界を震撼させた (No. 267 裏面)

## 元NSA契約職員のスノーデン氏は横田基地で働いていた

少し前ですが、サンデー毎日が6月12日号から「日米同盟の正体を暴く」という記事を5週にわたり連載しました。ジャーナリストの小笠原みどり氏がエドワード・スノーデン氏に独占インタビューしたものです。

「日本には2009年ごろに来て、福生市で(2年間)暮らしました。横田基地に勤務していましたが、僕は軍人ではなかったので基地の外に住みました。駅が近くて旅行にも便利で、気に入っていました。」とスノーデン氏。

彼が米国の世界同時監視システムを告発したのは、2013年6月、当時29歳でした。

米国のメディアは自国民が監視の対象になっていたことに驚愕し、メルケル首相が盗聴されていたドイツなどでは強い反発が巻き起こりましたが、日本ではほとんど報じられませんでした。スノーデン氏は現在も、米政府の「おたずね者」のまま、モスクワに滞在。その一方で2014年に表現の自由とプライバシーの保護への貢献で、もう一つのノーベル賞と言われるライト・ライブリフッド賞を受賞。世界各地の内部告発者と調査報道ジャーナリストを支援する「報道の自由基金」の理事も務めています。(写真：グレン・グリーンウォルド著『暴露』の表紙)

## サイバー防諜を担当していたスノーデン 諜報は米軍基地の主要任務

スノーデンはコンピューター会社デルの社員として来日。デルは米国家安全保障局(NSA)の仕事を請け負っていました。オーストラリアの安全保障研究者、デズモンド・ボールとリチャード・タンターによれば、米国の信号諜報(SIGINT = シギント)活動には日本では現在、米海軍横須賀基地、米空軍三沢基地、米空軍横田基地、米大使館、米海兵隊キャンプ・ハンセン、米空軍嘉手納基地の計6か所を主要拠点に、約1000人が当たっている、ということです。

現在はインターネットとコンピューターの監視が最重要項目。米軍基地は戦争の遂行だけでなく、監視・盗聴を主要な任務に位置づけているのです。

最も情報を盗みやすいのは国際ケーブルを使った通信、例えば、外務省から米ワシントンの日本大使館へ、東京の本社から米国内の支社へ電話するような場合だと、スノーデンはみます。

米監視システムの標的にされているのは政府や企業だけではありません。報道機関、ジャーナリスト、そして市民の抗議、請願、調査など民主主義に不可欠な政治行動も狙われている。日本の市民誰一人例外なく傍受されている。スノーデン氏は、これでいいのかと問いかけます。

## 2016原水禁世界大会 横田基地の状況を発言する撤去の会・渡邊さん



初めて原爆が投下されてから71年の広島は6日、市主催の平和記念式典が開かれ、松井一実市長が「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて力を尽くすことを誓う」と「平和宣言」を行いました。

原水爆禁止2016年世界大会・広島はヒロシマデー集会(閉会総会)を開催、5500人が参加しました。「ヒバクシャ国際署名」に大きく取り組んでいく決意を固めあいました。

「核と基地のない日本、沖縄との連帯を」の分科会では、沖縄の情勢が報告され、横田基地の撤去を求める西多摩の会の渡邊さんも発言しました。(左写真)